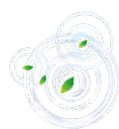




6月から市内の公立小中学校の全校生徒を対象に、3.5cmの和紙の中に、それぞれの想いや夢を描きました。

集まった和紙を持ち寄った各学校の代表者は、6月28日に県立橋本体育館に集まり、各校の和紙を台座へと貼付け、1つの形へと作り上げていきました。

1万人の想いを1つに



同様に県内各地で和紙の貼付けイベントが開催された後、蓮華部分と台座を組み合わせ、7月7日、高野山学びの杜（高野町）において完成披露式典が開催されました。

利他の蓮華は今後も展示が予定されています。

●9月28日(日)まで（予定）
高野山金剛峯寺
☎073615612011

●問合せ
生涯学習課 ☎3313704

子どもたちの想いを
のせて万博へ！

利他の蓮華



1万人以上の子どもが参加した
「利他の蓮華」制作で、皆の想いや夢をのせたオブジェが大阪・関西万博で展示されました。

【生涯学習課】

利他のこころ

いのちの大切さ

利他の蓮華オブジェの制作は、東京大学先端科学技術研究センターと高野山大学が主導し、高野山金剛峯寺、和歌山県などが連携して行なわれた取り組みです。

みんなの力を合わせて1つのオブジェを完成させるという取組みによって「利他のこころ」「いのちの大切さ」を子どもたちに受け継ぎ、利他の蓮華が大輪の花を咲かせることで、世界中の人々が幸せになっほしいというメッセージを発信しています。

制作には、和歌山県内の1万人以上の子どもが参加し、橋本市からは市内の公立小・中学生3,901人が参加しました。

「利他」と「蓮華」

「利他」とは、他人を思いやり、その人の幸福を願う事を意味します。「蓮華」は、悟りなどの象徴とされており、仏教において尊いものとして扱われています。



利他の蓮華

オブジェの最上部の蓮華部分は和紙（高野紙）で作られており、日本の伝統文化である折り紙の技術により制作されています。また、宮大工の技術により、オブジェを回転させると花びらが美しく開閉する仕組みになっています。



▲▼回転させると花びらが開きます

大阪・関西万博から世界に発信

完成した利他の蓮華が、7月26日に大阪・関西万博のイタリア館内で展示されました。

利他の蓮華は、今後も万博で展示が予定されています。

●9月30日(火)～10月9日(木)
大阪・関西万博 和歌山ゾーン

万博には他にも橋本市が！

利他の蓮華以外にも、大阪・関西万博には橋本市の産品が出展されています。訪れた際はぜひお立ち寄りください。



【関西パビリオンなどで展示】

- 高野口パイル
- 紀州へら竿
- 組子細工 など



●問合せ 政策企画課 ☎33-1576